## 5/3 (金 · 视)

## 下船岡神社 神幸祭





約390年の伝統を持ち、八頭町無形民俗文化財に指定されている 「下船岡神社神幸(みゆき)祭」が5月3日(金・祝)に、下町、坂町 地内で6年ぶりに開催されました。

朝7時頃、獅子舞が本殿に奉納されたあと、諸々の儀式が行われ、榊(さかき)を先頭に、面冠(めんか)、奴(やっこ)、御幟(おのぼり)、惣供(そうども)、神輿(みこし)などで構成された大行列が下町、坂町集落を練り歩きます。

氏子の家々は玄関先や縁側に飲み物や軽食を並べて行列を迎え、 担ぎ手たちをねぎらいもてなしていました。

クライマックスとなる夜の宮入りは神輿と榊の練り合いが繰り広 げられ、笛や太鼓の音とともに、担ぎ手、観客の熱気も最高潮に。

これまで受け継がれてきた伝統に新たに歴史を重ねた一日となりました。

神幸祭の関係者は、「時代の 変化とともに担ぎ手など後継者 不足により開催し続けるのに困 難さはあるが、地域の人はもち ろん、地元の学生たちにも協力 してもらって開催することがで きた。やっぱりみんなが集って 盛大に行えるのはうれしい」と 語っていました。





















4月29日(月・祝)、船岡竹林公園で「第27回ふなおか竹林まつり」が開催され、親子連れなど約1,100人が来園。船岡竹林公園30周年を記念し、植樹が行われたほか、大人気のタケノコ掘りなどの体験イベントやまつりを盛り上げるステージ発表が行われました。

大きなタケノコを掘って「やったぁ」と笑顔がはじけるこどもたち。 幼少期の竹トンボづくりや竹馬遊びを思い出してはつらつとする大人 たちの姿など、竹林浴をしながら身体を動かし、地元産のおいしもの を食べるなど、ふるさとやずの魅力をたっぷり味わっていました。



















